

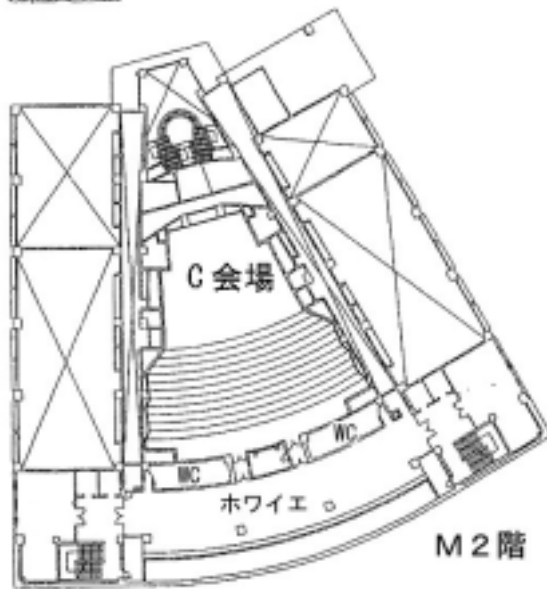
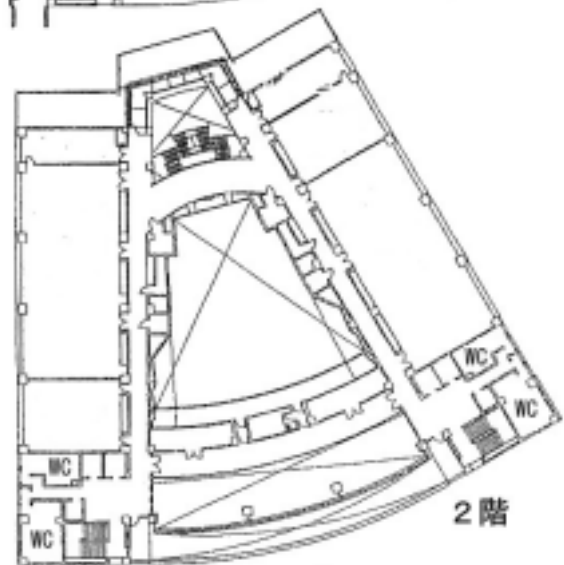
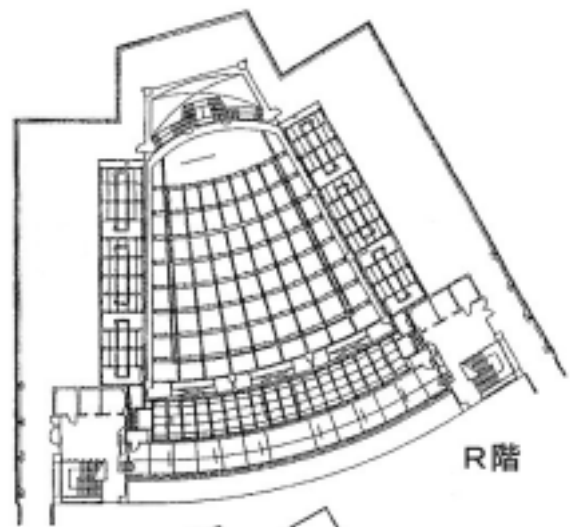
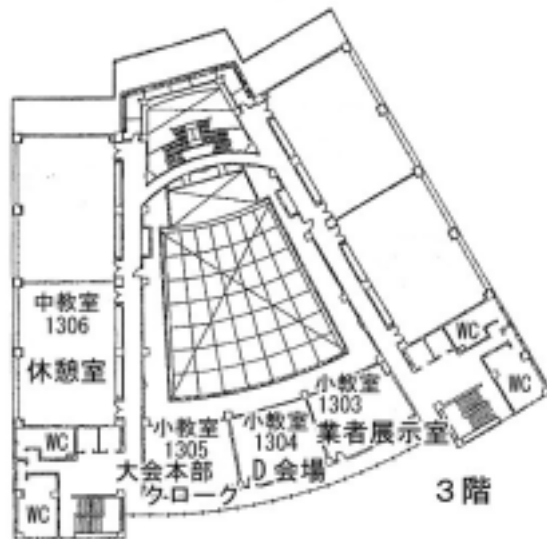
日本哺乳類学会2004年度（厚木）大会 プログラム・講演要旨集

会期： 2004年10月8日(金)～11日(月・祝日)
会場： 東京農業大学 厚木キャンパス 講義棟
事務局： 東京農業大学 農学部畜産学科 野生動物学研究室
〒243-0034 神奈川県厚木市船子1737
Tel 046-270-6575 Fax 046-270-6575
E-mail: msj2004@mammalogy.jp
大会HP: <http://www.university.jp/mammalogy/>

日本哺乳類学会2004年度大会 日程表

		9	12	12:30	14	15:30	16	17	18	21	
10月8日(金)	F1	IMC9準備会		クマ保護管理 作業部会	シカ保護管理 作業部会	国際交流 専門委員会			評議員会		
	F2			移入動物対 策作業部会	英文誌 編集委員会		哺乳類保護管理 専門委員会				
	E			種名・標本委 員会	和文誌 編集委員会	レッドデータ 専門委員会					
		9	12	12:30	15	17:30	18	20	21		
10月9日(土)	A	口頭発表 (1A01~1A12)									
	B	口頭発表 (1B01~1B13)									
	P	ポスター準備									
	C			総会	公開シンポジウム1 「動物園の日本産哺乳 類の展示と維持」						
	懇							懇親会			
	E									小会合 用予備	
		9	12	12:45	13	13:30	15	17	17:30	19	21
10月10日(日)	A	口頭発表 (2A01~2A12)		F1 食肉目研究の 個体追跡と遺伝子 解析技術	F2 国際学会に 行こう!!	F3 外来種として のタイワンリス	F4 食虫類とミミズ				
	B	口頭発表 (2B01~2B15)					F5 動物園で研究 成果を活かす	F6 特定鳥獣保 護管理計画の今 後			
	P	ポスター展示	集中 時間	ポスター展示							
	C				公開シンポジウム2 「哺乳類の採食行動」						
	D							F7 Murine diversitication in the Asia-Pacific	F8 かたちの学校		
		9	11:45	12:30	14:30						
10月11日(月・祝)	A	口頭発表 (3A01~3A11)		F9 霊長類におけ る種間関係							
	B	口頭発表 (3B01~3B11)									
	P	ポスター展示	撤去	エクスカージョン							
	D			F10 「生物学種概 念」と家畜の系譜							
		A会場: 講義棟1104教室(1F)		F会場: 黒猫荘							
		B会場: 講義棟1103教室(1F)		懇親会: 学内食堂「けやき」							
		P会場: 講義棟1101・1102教室(1F)		業者展示: 講義棟1303教室(3F)							
		C会場: 講義棟トリニティ・ホール(中2階)		大会本部: 講義棟1305教室(3F)							
		D会場: 講義棟1304教室(3F)		クローク: 講義棟1305教室(3F)							
		E会場: 研修センター セミナー室		休憩室: 講義棟1306教室(3F)							

講義棟



大会参加者へのご案内

1. 会場および受付

- a. 10月8日の各種会議に出席される方は、野生動物学研究室(研究棟4階)で8:30~18:00に受け付けます。
- b. 10月9~11日は午前8:30から講義棟会場にて登録受け付けます。参加申込み済みの方は、講演要旨集・名札などをお受け取り下さい。当日申込みの方は、参加費・懇親会費などをお支払い下さい。
- c. 大会会場では必ず名札をご着用下さい。着用のない場合はスタッフが確認させていただくこともあります。懇親会参加者の名札には参加マークが付けてありますので、懇親会場でも忘れずに着用して下さい。
- d. クロークは大会本部にあります。10月9・10日は8:30より受け付け、18:00に閉鎖します。10月11日は8:30より受け付け、13:00に閉鎖します。

2. 口頭発表される方へ

- a. 講演時間は12分、質疑応答の時間を含めて14分30秒です。時間の延長は一切認めません。各演者は講演開始前に次演者席に着いてください。企画集会の発表時間は世話人の指示に従ってください。
- b. 各演者には次演題の座長を勤めていただきます。講演終了後、座長席に着いて、すみやかに会を進行させて下さい。なお最初の演題は、大会会場係が座長をつとめます。
- c. 会場では液晶プロジェクタ、スライド映写機およびOHPが使用できますが、スクリーンは一つですので、同時に二つの機器は使用できません。

3. 液晶プロジェクタを使用される方へ

- a. 液晶プロジェクタ使用に関して、パソコンを付け替えるとしばしば機器トラブルを経験しますので、持ち込みノートパソコンとの接続はお断りします。当日9時までにCD-Rに納められたファイルをパソコンにコピーして使用いただきます(会場係に申し出てください)。マッキントッシュをお使いの方は、ファイルがウインドウズで問題なく動作することを事前に確認しておいてください。
- b. パワーポイント・ファイルの立ちあげ時間も発表時間に含めます。会場のパソコン(Windows2000, パワーポイント2000)が非力で巨大ファイルの立ち上げに時間を要しますので、ファイル容量は20MB以下にとどめてください。

4. スライドを使用される方へ

- a. スライドは原則として10枚以内とします。使用できるスライドは35mm版、5×5cm 枠付とし、枠には講演番号、氏名をご記入下さい。同じスライドを再度使用する場合は2枚作成して下さい。
- b. スライド使用の講演者は、講演の30分前までに発表会場入口にあるスライド受付で、スライド順をチェックして下さい。講演終了後は、同受付にてスライドをお受け取り下さい。

5. ポスター発表される方へ

- a. 大会期間中にポスターの入れ替えはありません。各発表者につき、縦180cm×横90cmの展示パネルを準備します。P会場には貼り付け用の文房具を準備してあります。
- b. 掲示作業は10月9日午前9時から可能です。同日午前中には展示を完成してください。撤去は10月11日12:00~12:30に行ってください。
- c. 10月10日に、ポスター発表の集中時間帯を設けています。ポスター発表者はこの時間帯は、常時待機して下さい。発表者はそれ以外にポスター説明の時間帯を数回設定し、ポスター内に表示して下さい。
- d. 最上段に発表演題・発表者氏名と所属を横書きして下さい。発表者の顔写真をなるべく入れて下さい。
- e. 標本・資料などをポスターの前に置く机を希望する発表者は、係に申し出てください。

6. 各種委員会に参加される方へ

各種委員会は下記の時間で、すべて10月8日(金)に行います。

IMC 準備委員会	09:00～12:00	F 会場
移入動物対策作業部会	12:30～14:00	F2 会場
種名・標本委員会	12:30～14:00	E 会場
英文誌編集委員会	14:00～15:30	F2 会場
和文誌編集委員会	14:00～15:30	E 会場
クマ保護管理検討作業部会	12:30～14:00	F1 会場
シカ保護管理検討作業部会	14:00～15:30	F1 会場
国際交流専門委員会	15:30～17:00	F1 会場
レッド・データ作業部会	15:30～17:00	E 会場
哺乳類保護管理専門委員会	16:00～18:00	F2 会場
評議員会	18:00～21:00	F 会場

7. 懇親会に参加される方へ

- a. 10月9日(土)18:00～20:00に学内食堂「けやき」で開催します。
- b. 懇親会終了頃に本厚木駅行きのバスを増便予定です。

8. エクスカーションに参加される方へ

登録時にエクスカーション費用をお支払いください。計画に変更の生じた方は、事前に事務局までE-mailあるいはFaxで連絡してください。当日キャンセル・無断不参加の方からは費用をいただきます。エクスカーションの内容に変更の生じることもありますので、大会HPに掲載されるエクスカーション情報に注意してください。

9. 研修センターに宿泊される方へ

- a. 登録時に宿泊費をお支払いください。計画に変更の生じた方は、事前に事務局までE-mailあるいはFaxで連絡してください。当日キャンセルや無断不参加の方からは費用をいただきます。
- b. 宿舎は一般民家に近接していますので、近隣への迷惑防止のため外部に声が漏れないようにして下さい。
- c. チェックイン、チェックアウト時刻、宿泊の注意などは、追って大会HPに掲載します。

10. アクセス

- a. キャンパス内の駐車スペースは限られています。できるだけ公共交通機関をご利用ください。
- b. 学会期間中のバスは臨時に平日ダイヤで運行します。本厚木駅発は7:15から21:15まで、農大発は7:40から22:20まで概ね20分間隔で運行します。ダイヤは大会HP参照。

11. その他

- a. 学外の食堂まで距離があるので、昼食は学内食堂利用が便利です(売店の弁当もあります)。
- b. ウイルス汚染防止のため、持ち込みノートパソコンを学内LANに接続することは厳禁とします。発表ファイル事前チェックやインターネット用などに少数のパソコンを用意します。
- c. 10月9日夜に内輪の小会合を開かれる方のために、研修センターのセミナー室を用意してあります。
- d. 10月10日(日)にはキャンパス内で神奈川県の養豚振興をねらいとした「トントンまつり」が開かれます。一般市民の来校者も多く混雑が予想されますが、会場の講義棟は大会関係者しか出入りできませんので、大会の運営には支障ありません。豚肉関連の模擬店出展や販売も行われますのでご利用ください。

C 会場(トリニティ・ホール) 10月9日(土) 総会・公開シンポジウム

12:30～15:00

総会

15:00～17:30

公開シンポジウム1: 「動物園における日本産哺乳類の展示と維持」

【準備担当】小宮輝之・井内岳志

1. 「四国産ニホンカモシカを飼育して」
わんぱーくこうちアニマルランド・中西安男
2. 「カヤネズミのゆりかご作り 日本で一番小さなネズミの巣作り行動」
恩賜上野動物園・宮田桂子
3. 「アブラコウモリとアズマモグラの体重変動と摂食量」
富士市ファミリーパーク・村井仁志
4. 「リスの森構想から10年」
井の頭自然文化園・佐々木真一
5. 「オヒキコウモリの保護活動と飼育展示」
広島市安佐動物公園・畑瀬淳
6. 「アズマモグラの飼育と展示における新しい知見」
多摩動物公園・菊地文一

C 会場(トリニティ・ホール) 10月10日(日) 公開シンポジウム

13:30～17:30

公開シンポジウム2: 「哺乳類の採食行動」

1. 「ヒグマの食性～地域による違いと年変動～」
佐藤善和(日大生物資源学部)
2. 「シカ類の食性と採食」
高槻成紀(東大総合研究博物館)
3. 「キツネの採餌行動とエキノコックス症」
塚田英晴(畜産草地研究所)
4. 「ニホンザルの被害管理 採食生態学の観点から」
室山泰之(京大霊長類研究所)
5. 「無牧柵林間放牧下での家畜ウシの採餌行動と管理」
安江 健(茨城大学農学部)
6. 総合討論

企画集会

- F1 食肉目の研究に関わる調査技術事例集 中間報告**
「食肉目の研究で個体追跡と遺伝子解析を行うにあたって必要な知識と技術について」
世話人：金子弥生(オックスフォード大学野生動物保護学ユニット), 福江佑子(NPO 法人ピッキオ)
10月10日(日) 13:00-15:00 A会場
- F2 国際学会に行こう！！**
世話人：島田卓哉・大西尚樹(森林総研・関西)
10月10日(日) 15:00-17:00 A会場
- F3 外来種としてのタイワンリス, まずはその現状把握から**
世話人：田村(林)典子(森林総研・多摩森林科学園)・繁田真由美(野生生物管理)・押田龍夫(帯畜大・野生動物)・柳川 久(帯畜大・野生動物)
10月10日(日) 17:00-19:00 A会場
- F4 増補食虫類の自然史 5. 食虫類とミミズ**
世話人：横畑泰志(富山大・教育)・川田伸一郎(名古屋大院・生命農学)
10月10日(日) 19:00-21:00 A会場
- F5 動物園で研究成果を活かす 3**
世話人：村井仁志(富山市ファミリーパーク)
10月10日(日) 17:00-19:00 B会場
- F6 特定鳥獣保護管理計画の今後を考える(ニホンジカとの共生にむけて)**
世話人：羽山伸一
10月10日(日) 19:00-21:00 B会場
- F7 New insights into the pattern and process of murine diversification in the Asia-Pacific region**
世話人：Ken Aplin (CSIRO, Australia)
10月10日(日) 17:00-19:00 D会場
- F8 かたちの学校(10): 「アジアの動物を切る」**
世話人：遠藤秀紀(国立科学博物館・動物研究部)
10月10日(日) 19:00-21:00 D会場
- F9 「霊長類における種間関係 - 同所的な他種の存在とは? ~アラカルト」**
世話人：竹元博幸・山根明弘・早石周平・山田 彩
10月11日(月) 12:30-14:30 D会場
- F10 「生物学的種概念」と家畜の系譜・・・家畜の種名をどうとらえるか**
世話人：織田銑一(主催:日本哺乳類学会種名標本検討委員会家畜種名作業部会)
10月11日(月) 12:30-14:30 D会場

- 09:00 1A01 **長野県小諸市高峰山で得られたアズミガリネズミ *Sorex hosonoi* の核型分析**
*森部絢嗣・野呂達哉(名大・院・生命農学・動物管理)・小林秀司(中京女子大・人文)・織田銃一(名大・院・生命農学・動物管理)
- 09:15 1A02 **スンス NAG ラインにおける ^{13}C 欠如と上顎歯列の相互関係**
*城ヶ原貴通(名大・院・生命農学・動物生産), 子安和弘(愛院大・歯・解剖第二, 口腔先端研)・花村 肇(愛院大・歯・解剖第二, 口腔先端研, ハイテク・リサーチ・センター)・河合達志(愛院大・口腔先端研, ハイテク・リサーチ・センター, 歯科理工)・織田銃一(名大・院・生命農学・動物生産)
- 09:30 1A03 **各種染色体分染法による台湾産モグラの比較核型分析**
*川田伸一郎・織田銃一(名大・院・生命農・動物管理)・原田正史(大阪市立大・医)・Liang-Kong Lin(台湾東海大・生物)
- 09:45 1A04 **ステップホオヒゲコウモリ *Myotis aurascens* の系統地理に関する研究**
チチュリナ カテリナ・増田隆一(北大・先端科学研究センター・遺伝的多様性)
- 10:00 1A05 **コウモリが森を守る? - 洞穴性コウモリによるブライヤキリバ(チョウ目ヤガ科)の捕食**
佐野 明(三重県科学技術振興センター)
- 10:15 1A06 **九州産コキクガシラコウモリの繁殖生態**
*船越公威(鹿国大・国際文化・生物), 野村絵理(鹿大・理・地球環境)
- 10:30 1A07 **北海道東部のチチブコウモリの生態(その1)**
*近藤憲久(根室市教育委員会)・佐々木尚子(釧路教育大)
- 10:45 1A08 **積雪期の糞 DNA 解析によるノウサギの行動範囲の推定**
*松木吏弓・阿部聖哉・竹内 亨(電中研・生物環境領域), 矢竹一穂((株)セレス 環境調査部)・梨本 真(電中研・生物環境領域)
- 11:00 1A09 **亜熱帯気候に生息するアマミノクロウサギの生息環境と温度適応**
山田文雄(森林総合研究所)
- 11:15 1A10 **台湾リスの頭蓋における地理的変異について**
*林田明子(帯広畜産大・獣医解剖学)・遠藤秀紀(国立科学博物館・動物)・佐々木基樹・北村延夫・山田純三(帯広畜産大・獣医解剖学)
- 11:30 1A11 **パキスタン北部に同所的に分布する滑空性リス類 2 種(オオアカムササビ *Petaurista petaurista albiventer* およびカシミールクサビオモモンガ *Eoglaucomys fimbriatus*) の食性選択**
Chaudhry M. Shafique(カラチ大・動物)・Sohail Barkati(カラチ大・動物)・*押田龍夫(帯広畜産大・野生動物管理)・安藤元一(東京農大・農・野生動物)
- 11:45 1A12 **シベリアシマリスの越冬時休眠特性の地域差**
*正木美佳(鹿児島大・連合農・生物生産)・川道武男・川道美枝子(京都哺乳類研究会)・尹明熙・鈴木健一(慶星大・自然科学・生物)・越本知大(宮崎大・フロンティア科学実験総合センター)・元 炳旣(慶熙大)・森田哲夫(宮崎大・農・食料生産)

- 09:00 2A01 **非冬眠季におけるヤマネの休眠**
*木場頼孝(宮崎大・農・動物栄養)・中山 文・岩淵真奈美・湊 秋作(やまねミュージアム)・森田哲夫(宮崎大・農・動物栄養)
- 09:15 2A02 **中国大陸のアカネズミ属4種の分類と分布**
金子之史(香川大・教育・生物)
- 09:30 2A03 **ハツカネズミを用いた核遺伝子の系統地理学的解析における有用性**
*中島 望・鈴木仁(北大・院・地球環境)・半澤直人(山形大・理工学研)・土屋公幸(東京農大・野生動物)・森脇和郎(理研・バイオリソースセンター)
- 09:45 2A04 **カヤネズミ(*Micromys minutus*)の系統地理学的解析 ~ 核・ミトコンドリア両視点から**
*安田俊平(北大・院・地球環境), Peter Vogel(ローザンヌ大・生態進化)・土屋公幸(東農大・野生動物)・林良恭(東海大学・生物)・韓 尚勲(智異山南部管理事務所), 鈴木仁(北大・院・地球環境)
- 10:00 2A05 **カヤネズミの営巣群落選択**
*黒江美紗子(東大・院・生物多様性科学)・森川靖(早大・環境生態学)・大堀聡(早大・自然環境調査室)・高槻成紀(東大・総合研究博物館)
- 10:15 2A06 **青森 - 岩手県境産廃不法投棄現場のネズミ類の染色体を指標とした遺伝的影響評価**
*京谷恭弘・小原良孝・中田章史(弘前大・農学生命)
- 10:30 2A07 **来年のエゾヤチネズミの発生を数値予測できるか**
中田圭亮(北海道立林業試験場道東支場)
- 10:45 2A08 **アカネズミに育てられたマウスは高いタンニン耐性を持つのか? フォスタリングによるタンナーゼ産生細菌の効果の検証**
*島田卓哉(森林総合研究所・関西)・齊藤 隆(北大・フィールド科学センター)・大澤朗・佐々木英生(神戸大・自然科学研究科)
- 11:00 2A09 **ダイオキシン類による内分泌攪乱作用は野性アカネズミの生殖機能へどのような影響を与えているのか**
*松木英典・當間士紋(新潟大・農)・石庭寛子(新潟大・院・自然科学研究科)・高橋敏雄(新潟大・工)・梶原秀夫(新潟大・院・自然科学研究科)・小山幸子(東大・院・総合文化研究科)・関島恒夫(新潟大・院・自然科学研究科)
- 11:15 2A10 **インドオオアレチネズミ精子の凍結保存法および低温保存法の検討**
*渡部大介・森田哲夫(宮崎大・農・動物栄養)・土屋公幸(東京農大・農・野生動物)・越本知大(宮崎大・フロンティア科学実験総合センター)
- 11:30 2A11 **心臓と大血管の構造に見る哺乳類の系統発生と適応放散 第三部 肺静脈を中心に**
*澤野啓一・岸 清(東邦大・医・第一解剖学教室)・馬場 稔(いのちのたび北九州市立自然史博物館)・ブアディ(ボゴール動物学博物館)
- 11:45 2A12 **インドシナ半島に分布するアカゲザル(*Macaca mulatta*)の系統地理学的研究 I**
*濱田 穰(京大・霊長研・形態)・Suchinda Malaivijitnond(チュラロンコーン大・理・生物・霊長類研究ユニット)

- 09:00 3A01 **イタチ科の MC1R 遺伝子において観察された挿入・欠失型変異**
*細田 徹治(和歌山県立耐久高校)・佐藤 淳(福山大・生命工学部)・Kevin L. Campbell(マニトバ大・動物)・島田朋史・鈴木 仁(北大・院・地球環境)
- 09:15 3A02 **兵庫県東部産ニホンイタチ (*Mustela itatsi*) の頭骨形態の変異について**
*鈴木 聡(京都大・総合人間学部)・安部みき子(大阪市大・院医)・本川雅治(京大・総合博物館)・松井正文(京都大・院人間・環境)
- 09:30 3A03 **テンの糞内容物による季節別食性傾向とその類型化**
*足立高行(大分野生研)・荒井秋晴(九歯大・中央研)・桑原佳子(大分野生研)・吉田希代子(九歯大・中央研)
- 09:45 3A04 **標本調査によるスマトラカワウソの分布と,スマトラカワウソとユーラシアカワウソの頭骨・毛皮の違いについて**
*佐々木 浩(筑紫女学園短大)・Burhanuddin Mohd.Nor. (Department of Wildlife and National Parks, Malaysia)・Budsabong Kanchanasaka (Royal Forest Department, Thailand)
- 10:00 3A05 **複数の核の遺伝子より推定した食肉類の系統 - イタチ科の進化を中心に -**
*佐藤 淳(福山大・生命工)・鈴木 仁(北大・院・地球環境)・Mieczyslaw Wolsan (Polish Academy of Sciences)・細田徹治(耐久高校)・山口泰典(福山大・生命工)・樋山梢(福山大・生命工)・小林万理(NPO 法人北の海)・南 心司(広島市安佐動物公園)
- 10:15 3A06 **西表・対馬ヤマネコおよびアジア産ベンガルヤマネコの分子系統地理的考察**
*玉田 努(北大・院・地球環境・生態環境)・増田隆一(北大・先端科学研究センター・遺伝的多様性)
- 10:30 3A07 **九州南部霧島山系におけるタヌキ個体群への疥癬症の影響**
小金澤正昭(宇都宮大・農・演習林)
- 10:45 3A08 **飼育下における小型加速度ロガーを用いた小型ネコ科の行動解析**
*渡辺伸一・伊澤雅子(琉大・理)・岡村麻生(環境省)・加藤明子・内藤靖彦(極地研)
- 11:00 3A09 **対馬山地部に生息するツシマヤマネコ *Prionailurus bengalensis euptilura* の生態 - 行動圏とその食性 -**
*檜山智嗣(対馬野生生物保護センター)・渡辺伸一・伊澤雅子(琉大・理)
- 11:15 3A10 **ツシマヤマネコ定住オスの年齢に伴う個体間関係の変化**
上野あや(琉大・理)・檜山智嗣(対馬野生生物保護センター)・中西 希(琉大・理)・土肥昭夫(長大・環境科学)・*伊澤雅子(琉大・理)
- 11:30 3A11 **炭素・窒素安定同位体比からみたツシマヤマネコの食性の経年変化**
*三谷奈保(九大・比文, 自然環境研究センター)・三原正三(九大・比文, 学振研究員)・石井信夫(東女大・文理)・小池裕子(九大・比文)

- 09:00 1B01 **本州中部ツキノワグマ個体群の遺伝構成:ミトコンドリア DNA 解析から個体群成立の歴史的背景をさぐる**
*大西尚樹(森林総研・関西)・石橋靖幸(森林総研・北海道)・齊藤 隆(北大・フィールド科学センター)
- 09:15 1B02 **ニホンツキノワグマ頭骨にみられる地理的変異**
*下稲葉さやか(京大・理・動物)・大井徹(森林総研関西)・鳥居春己(奈良教育大・自然環境教育センター)
- 09:30 1B03 **軽井沢のゴミに餌付いたツキノワグマの行動圏の特徴**
*小山 克・田中純平・樋口 洋・玉谷宏夫・今野万里子・谷上 綾・南 正人(NPO 法人ピッキオ)
- 09:45 1B04 **安定同位体解析によるツキノワグマの体毛の成長過程の解明と食性解析への応用**
*水上留美子(東京農工大・院・連合農)・岡野 司・八代田千鶴(岐阜大・院・連合獣医)・小松武志(阿仁町ツキノワグマ研究所)・楊 宗興(東京農工大・院・連合農)・林秀剛(NPO 信州ツキノワグマ研究会)・坪田敏男(岐阜大・院・連合獣医)
- 10:00 1B05 **長野県に生息するツキノワグマのヘアートラップ法による個体識別**
*森光由樹・名矢結香・泉山茂之(野生動物保護管理事務所)
- 10:15 1B06 **四国におけるツキノワグマに対する住民意識**
*金澤文吾・金城芳典・谷地森秀二(NPO 法人四国自然史科学研究センター)
- 10:30 1B07 **縄文ヒグマの古代 DNA 解析と動物地理的変遷**
*増田隆一(北大・先端科学研究センター・遺伝的多様性)・高橋 理(千歳サケのふるさと館)
- 10:45 1B08 **ミトコンドリア DNA 解析からみた日本近海に生息するハンドウイルカ(genus *Tursiops*)の遺伝的組成**
*早野あづさ(京大・霊長研)・吉岡基(三重大・生物資源)・天野雅男(東大・海洋研)・鳥羽山照夫(鴨川シーワールド)・内田詮三(沖縄美ら海水族館)・濱崎英治(天草ドルフィンワールド)・中村雅之(マリンワールド海の中道)・漁野真弘(城崎マリンワールド)・篠原正典(環境科学技術研)・白木原美紀(東邦大)・原口涼子(東京農工大)・菱井徹(御蔵島イルカ協会)・森 恭一(小笠原WW協会)
- 11:00 1B09 **マッコウクジラの潜水行動の熊野灘と小笠原周辺海域での差異**
*青木かがり(東大・海洋研)・天野雅男(東大・海洋研国際沿岸センター)・吉岡 基(三重大・生物資源)・森 恭一(小笠原ホエールウォッチング協会)・徳田大輔(三重大・生物資源)・宮崎信之(東大海洋研)
- 11:15 1B10 **マッコウクジラは視覚を採餌に利用しているか**
*天野雅男(東大海洋研国際沿岸センター)・青木かがり(東大海洋研)・吉岡 基(三重大・生物資源)・森 恭一(小笠原ホエールウォッチング協会)・徳田大輔(三重大・生物資源)
- 11:30 1B11 **集団座礁したカズハゴンドウ *Peponocephala electra* の MHC 遺伝子多型解析**
*曾根恵海(九大・比文)・早野あづさ(京大・霊長研)・伊藤幸子(九大・比文)・山田格(国立科学博物館・動物)・天野雅男(東大・海洋研)・西田 伸・小池裕子(九大・比文)
- 11:45 1B12 **三陸沖陸棚斜面における春季イシイルカの摂餌生態**
岡本亮介(東海大・海洋)・大泉宏(東海大・海洋)・磯田辰也(日鯨研)・佐藤仁美(愛知県在)・岩崎俊秀(遠洋水研)
- 12:00 1B13 **父系系列からみた鯨類の系統関係**
*西田 伸(九大・比文)・後藤睦夫・Luis A. Pastene・上田真久((財)日本鯨類研究所)・小池裕子(九大・比文)

- 09:00 2B01 **ニホンジカの生活史と保安全管理戦略 - ステージ行列と感度分析から**
三浦慎悟(新潟大・農・附属フィールド科学教育研究センター)
- 09:15 2B02 **山口県のニホンジカ生息頭数推移とフィードバック**
*田戸裕之・杉本博之・桑野泰光(山口県林指セ)・細井栄嗣・山田昌宏(山口大・農)
松田裕之(横国大・環境情報)
- 09:30 2B03 **ニホンジカ下顎骨の地理的変異 - 採食生態に関連した形質に注目して -**
*尾崎麦野(東大・農・生物多様性科学)・高槻成紀(東大・総合研究博物館)・池田浩一
(福岡県森林林業技術センター)・大場孝裕(静岡県林業技術センター)・梶 光一(北
海道環境科学研究センター)・金森弘樹(島根県中山間地域研究センター)・小泉 透
(森林総合研究所九州支所)・濱崎伸一郎(野生動物保護管理事務所)・細井栄嗣
(山口大・農)
- 09:45 2B04 **奈良公園に棲息するシカの角について**
広畑真紀(奈良教育大学)・鈴木和男(ふるさと自然公園センター)・鳥居春己(奈良教
育大)・甲斐義明・今西晃弘(奈良の鹿愛護会)
- 10:00 2B05 **24時間直接観察によるニホンジカの行動の時間的配分**
*堀野眞一・野宮治人(森林総研)・伊藤英人(北大)・丹羽 慈(横国大)・松尾浩司
(青年海外協力隊)・前山絵里(筑波大)・飯塚弘毅(東大)
- 10:15 2B06 **西日本におけるニホンジカの体サイズと生長**
*小泉 透(森林総研九州)・濱崎伸一郎・岸本真弓(野生動物保護管理事務所)・小
林雅人(京大農)・安武愛子(野生動物保護管理事務所)
- 10:30 2B07 **金華山島におけるニホンジカの発情時期及び発情回数と繁殖成功**
*大西信正・南 正人(NPO 法人ピッキオ)・高槻成紀(東大・総合研究博物館)・岡田
あゆみ(茨城県立医療大)
- 10:45 2B08 **金華山島のニホンジカの生命表および年齢別繁殖活動**
*南 正人・大西信正(NPO 法人ピッキオ)・高槻成紀(東大・総合研究博物館)・岡田
あゆみ(茨城県立医療大)
- 11:00 2B09 **餌制限下におけるエゾシカの出産日**
*高橋裕史(北大院・獣医生態)・田中純平(NPO 法人ピッキオ)・田中友香(浅間動物
病院)・梶 光一(道環境研)
- 11:15 2B10 **自然定着したエゾシカ個体群の爆発的増加: 個体数制限要因を探る**
*梶 光一(道環境研)・岡田秀明(知床財団)・小平真佐夫(知床財団)・山中正実(知
床財団)
- 11:30 2B11 **知床岬台地におけるエゾシカの急増が、ヒグマの生息地利用に与える影響と生息
環境回復の試み**
青井俊樹(岩手大・農・農林環境科学科)・山中正実(知床財団)・佐藤 謙(北海学園
大・工)・石川幸男(専修大学北海道短大・造園林学)
- 11:45 2B12 **縄文時代から現在にいたるエゾシカの遺伝的多様性の変化**
*名畑太智(北大院・地球環境・生態環境)・増田 隆一(北大・先端科学研究センタ
ー)・高橋 理(千歳サケのふるさと館)・永田 純子(森林総合研究所)

- 12:00 2B13 **GPS テレメトリー法のエゾシカへの適用～データ回収率の検討**
*宇野裕之(北海道環境研)・鈴木 透・赤松里香・立木靖之(NPO 法人 EnVision 環境
保全事務所)・平川浩文(森林総研・北海道)・伊吾田宏正(北大北方生物圏フィールド
科学センター)
- 12:15 2B14 **ニホンカモシカの mtDNA コントロール領域および tRNA-Pro 遺伝子領域における
地域変異**
奥村栄朗(森林総研・野生動物)
- 12:30 2B15 **ニホンジカ個体群の密度調節現象 - 要因の分離と調節性の検討 -**
*立澤史郎(北大・文・地域システム)

- 09:00 3B01 **都市近郊中山間地域におけるイノシシの生態(予報) 島根県大田市を例に**
*仲谷 淳・上田弘則・竹内正彦(近畿中国四国農業研究センター)
- 09:15 3B02 **丹沢山麓における環境変化が中・小型哺乳類に与える影響**
*太田真琴・安藤元一・市川望久・安原 徹(東京農大・農・野生動物)
- 09:30 3B03 **モンゴル草原を縦断する国際鉄道がモウコガゼルの移動におよぼす影響**
*伊藤健彦(鳥取大学乾燥地研究センター)・三浦直子((株)パスコ)・B. Lhagvasuren・D. Enkhbileg (Mongolian Academy of Sciences)・高槻成紀(東大総合研究博物館)・恒川篤史(東大院・農学生命科学)・姜 兆文(山梨環境科学研)
- 09:45 3B04 **野生動物によるエゾシカ残滓の利用実態**
*嶋崎暁啓・佐藤喜和(日大・生物資源・森林動物)
- 10:00 3B05 **哺乳類の生息動向と被害状況の監視システム構築に向けて**
坂田宏志・鈴木 牧(兵庫県立大)・横山真弓(人と自然の博物館)
- 10:15 3B06 **GPS テレメトリーの実用性:知床半島におけるヒグマ調査の例より**
*小平真佐夫・岡田秀明・山中正実(知床財団)・早稲田宏一(NPO 法人 EnVision 環境保全事務所)・間野勉(北海道環境科学研究センター)
- 10:30 3B07 **キツネの個体数調査法としてのライトセンサスの評価**
*浦口宏二・高橋健一(北海道立衛生研究所)
- 10:45 3B08 **林道を利用した自動撮影による中大型哺乳類のモニタリング - 北海道内各地における調査の結果と分析**
平川浩文(森林総研・北海道)・小平真佐夫・岡田秀明(知床財団)・赤松里香(NPO 法人 EnVision 環境保全事務所)
- 11:00 3B09 **カメラトラップ法の極意**
安田雅俊(森林総合研究所・鳥獣生態研究室)
- 11:15 3B10 **動物の差別的和名に関するアンケート調査**
前川 望・*横畑泰志(富山大・教育・環境生物学)
- 11:30 3B11 **Morphological study of the hair in Korean mammals.**
*Han, Sungyong・Sangyong Jung (Kyungnam University, Korea; Wildlife Institute of Korea)

- P 01 **亜高山帯におけるヒミズの生息要因 - 長野県高峰山を事例として -**
*野呂達哉, 森部絢嗣, 織田銃一(名大院・生命農学・動物管理)
- P 02 **3つの遺伝子から見たタイモグラ *Euroscaptor klossi* の系統学的地位および *Euroscaptor* 属の単系統性に関する考察**
*篠原明男(宮崎大・フロンティア科学実験総合センター実験支援・生物資源)・川田伸一郎(名大院・生命農学・動物管理)・Worawut Rerkamnuaychoke(カセサート大・獣医・解剖)
- P 03 **タイ産モグラの捕獲調査およびその形態的・核学的特徴**
*川田伸一郎・織田銃一(名大・生命農・動物管理)・小林秀司(中京女子大・人文)・遠藤秀紀(国立科博), 木村順平(日大・生物資源・獣医)・押田龍夫(台湾東海大・生物)・佐々木基樹(帯広畜大・獣医)・Worawut Rerkamnuaychoke(カセサート大・獣医・解剖)
- P 04 **香川県さぬき市で採集されたコウベモグラの幼体について**
*川北智子(香川大・教育・生物)・川口 敏(香川県さぬき市)
- P 05 **栃木県の平地河川におけるカワネズミの分布**
*長谷部隆介(地域環境計画)・安井さち子(東洋蝙蝠研究所)・安藤元一(東京農大・農・野生動物)
- P 06 **ダイトウオオコウモリ *Pteropus dasymallus daitoensis* の生息状況**
*金城和三(沖国大・法)・東 和明(南大東島まるごと館)・嵩原建二(沖縄県博)・中本 敦(琉大・理)・佐藤香織(自然研)・伊澤雅子(琉大・理)
- P 07 **沖縄島におけるオリオオコウモリの種子散布者・花粉媒介者としての役割の評価**
*中本 敦(琉大・理)・金城和三(沖国大・法)・伊澤雅子(琉大・理)
- P 08 **かすみ網を用いた飛翔個体の捕獲による高知県におけるコウモリ目の生息状況把握(予報)**
*谷地森秀二・山崎浩司・金城芳典・金澤文吾(NPO 法人四国自然史科学研究センター)
- P 09 **栃木県北西部におけるコウモリ類の新たな分布記録とその生息環境**
*辻 明子・小柳恭二(東洋蝙蝠研究所)
- P 10 **染色体および No.1 遺伝子の塩基配列からみた中国および台湾産コヤマコウモリ *Nyctalus velutinus* の系統的位置付け**
*原田正史(大阪市大・院・医・動物実験)・河合久仁子(北大・低温科学研究所)・林 良恭(台湾東海大・生物)・呉 毅(広州大・生物)
- P 11 **滋賀県多賀町河内風穴洞内におけるテングコウモリ *Murina leucogaster* の懸架場所**
前田喜四雄(奈良教育大)・阿部勇治(多賀の自然と文化の館)・寺西敏夫(NPO 東洋蝙蝠研究所)・橋本肇(NPO 東洋蝙蝠研究所)・丸山健一郎(NPO 東洋蝙蝠研究所)
- P 12 **根室市牧の内ダムおけるドーベントソコウモリの生態(その1)**
近藤憲久(根室市教育委員会)・*佐々木尚子(釧路教育大)
- P 13 **ノネコによる絶滅危惧種カグラコウモリの捕食・咬殺について**
松村澄子(山口大・理・生物)
- P 14 **オリオオコウモリの摂食による種子の発芽率への影響**
*佐久川 香・中本 敦(琉大・理)・金城 和三(沖国大・法)・伊澤 雅子(琉大・理)

- P15 オヒキコウモリの生息地再生の試み**
*畑瀬 淳(広島市安佐動物公園)・寺山美穂子(修道学園広島修道中・高等学校)
- P16 飼育下アブラコウモリ (*Pipistrellus abramus*) における母子関係の分析**
*安藤陽子(東京農工大・院・連合農学研究科・野生動物保護学)・武田正平(東京農工大学・農学部・比較心理学)
- P17 ヒメホオヒゲコウモリとホオヒゲコウモリの血管走行パターンによる種識別の有用性の検討**
*河合久仁子(北大・低温研)・近藤憲久(根室市郷土資料保存センター)・佐々木尚子(北海道教育大・釧路分校)・佐藤雅彦(利尻町立博物館)・出羽寛(旭川大学)・福井大(北大・苫小牧研究林)・平川浩文(森林総研)・山鹿百合子(美幌町立博物館)
- P18 千葉県内の2カ所のねぐらにおけるユビナガコウモリの個体数変動**
繁田真由美・繁田祐輔((株)野生生物管理)・三笠暁子・水野昌彦(コウモリの会)・浅田正彦(千葉県立中央博物館)
- P19 Population structure and gene flow in *Rhinolophus cornutus* and *R. imaizumii* (Chiroptera: Rhinolophidae): implications for their taxonomy and conservation**
*Kyle Armstrong (Kyoto University Museum), Masashi Harada (Laboratory Animal Center, Osaka City University Graduate School of Medicine), Masaharu Motokawa (Kyoto University Museum), Liang-Kong Lin (Department of Biology, Tunghai University) and Yi Wu (Department of Biology, Guangzhou University)
- P20 自動撮影による森林性コウモリの活動モニタリング**
*平川浩文(森林総研・北海道)・佐々木尚子(釧路教育大)・前田喜四雄(奈良教育大)
- P21 盛岡市動物公園及び岩手大学内に生息するニホンリスの行動圏の比較**
*西 千秋・青井 俊樹(岩手大・農学研究科)
- P22 分散配置した林分におけるニホンリスの行動圏**
*矢竹一穂(NPO 法人ラプタージャパン)・荒川茂樹(東京電力(株))・水越利春(東電環境エンジニアリング(株))・倉品伸子((株)当間高原リゾート)・阿部 學(NPO 法人ラプタージャパン)
- P23 飼育ムササビ(*Petaurista leucogenys*)の樹葉嗜好性ならびに摂取栄養について**
*中野智紘・安藤元一・池田周平・祐森誠司・栗原良雄(東京農大・院・農)
- P24 エゾモモンガ (*Pteromys volans orii*) の滑空能力**
*浅利裕伸・柳川 久(帯広畜産大・野生動物管理学)
- P25 マレーヒヨケザルのねぐら選択とジャワ島西部における分布調査**
*馬場 稔(北九州市立自然史・歴史博物館)・金城和三(冲国大・法)・中本 敦・伊澤雅子(琉大・理)・Boeadi(ボゴール動物博物館)・土肥昭夫(長大・環境科学)
- P26 タイワンリスの貯食行動における空間認知実験**
*佐藤友紀子・江口祐輔・植竹勝治・田中智夫(麻布大・動物行動管理)
- P27 エゾヤチネズミにおける MHC クラス II ベータ鎖遺伝子の単離と染色体マッピング**
*石橋 靖幸(北大・理, 現所属 森林総研・北海道)・梅原千鶴子(北大・理, 現所属 北大・先端研)・阿部周一(北大・理, 現所属 北大・院・水産科学)

- P 2 8 都市緑地におけるアカネズミの生息状況と個体群維持に関する一考察**
黒田貴綱(日大・院・生物資源 緑地・環境計画)
- P 2 9 アカネズミは横断歩道を渡れない? ~ mtDNA が語る都市化の影響**
*廣田忠雄(ICU・理・生物)・広畑哲男・馬島 洋・佐藤俊幸・小原嘉明(農工大・獣医・動物行動)
- P 3 0 我が国における狩猟事故発生状況に関する統計学的解析 : 既存の公表データに関連して**
*鈴木正嗣(北大・獣医・生態)・石附和己(21世紀の狩猟を考える連絡会議)
- P 3 1 肉食性齧歯類・キタバットマウスの咀嚼筋とその機能的特性**
*佐藤和彦・岩久文彦(朝日大・歯・口腔構造機能発育学講座口腔解剖学分野)
- P 3 2 ロシアハタネズミ(*Microtus rossiaemeridionalis*)の日齢に伴う消化器官の成長に関する研究**
梶田聖和・正木あかね・織田銑一(名大院・生命農学・動物管理)
- P 3 3 アカネズミの頭蓋骨・下顎骨にみられる性的二型**
*上田弘則(近中四農研センター・鳥獣害研)・高槻成紀(東大・博物館)
- P 3 4 東アジア産アカネズミ属の分類と分布**
本川雅治(京大・総合博物館)
- P 3 5 齧歯目ネズミ科8種における毛の微細構造**
*荒井秋晴・吉田希代子(九歯大・中央研)・足立高行・桑原佳子(大分野生研)・馬場 稔(北九州市立自然史・歴史博物館)
- P 3 6 核遺伝子を用いたヤマネ科の系統分類とネズミ亜科との分岐年代の比較**
*布目三夫・安田俊平・鈴木 仁(北大・院・地球環境)・佐藤 淳(福山大・生命工)・湊 秋作(ヤマネミュージアム)・土屋公幸(東京農大・農・野生動物)
- P 3 7 ニホンザルにおける農地利用パターンの季節変化**
山田 彩(京都大・霊長研)
- P 3 8 ニホンザルを対象とした簡易皮厚計による皮厚測定**
*室山泰之(京大・霊長類研究所)・金森弘樹(島根県中山間地域研究センター)・北原英治(森林総合研究所北海道支所)
- P 3 9 空間利用から見た外来アライグマと在来エゾタヌキの種間関係 北海道野幌森林公園を事例として**
*阿部 豪・池田 透(北大・院・文学研究科地域システム科学)
- P 4 0 アライグマの摂食行動 ~アライグマは餌動物の毒を洗う? ~**
*持田浩治(京大・理・動物)・松井久実(麻布大・獣医・生理1)
- P 4 1 長野県におけるアライグマの遺伝学的分布**
*松崎雄三(防衛医科大・法医学講座)・福江佑子(ピッキオワイルドライフリサーチセンター)・鈴木和男(田辺市ふるさと自然公園センター)・浅野 玄(岐阜大・院・連合獣医学研究科)・的場洋平(酪農学園大・院・獣医学研究科)・大泰司紀之(北大・院・獣医学研究科)・牧野 敬(神奈川県自然環境保全センター)・今井利夫(東邦大・理・生物学科)・向田政博(防衛医科大・法医学講座)
- P 4 2 長野県軽井沢町におけるアライグマ(*Procyon lotor*)の生息状況(予報)**
*福江佑子・田中友香(NPO 法人ピッキオ)

- P 4 3 **神奈川県相模川以西における外来種アライグマの生息状況**
*田畑真悠・村田浩一(日大・生物資源・野生動物学)・河内紀浩((株)野生動物保護管理事務所)
- P 4 4 **キタキツネが市街地に営巣する際に必要とする環境条件**
*池田貴子(帯畜大・野生動物, 現所属:北大・院・獣医・寄生虫)・小野山 敬一(帯畜大・野生動物)
- P 4 5 **岩手大学構内におけるノラネコの生態について**
田中 桂・*青井俊樹(岩手大・農)
- P 4 6 **ツシヤママネコ・メスの育仔期間の行動圏利用**
*土肥昭夫・熊本麻衣子(長崎大・環境科学)・伊澤雅子(琉球大・理)
- P 4 7 **北海道における野生ネコ目感染症・寄生虫症研究の概要**
*浅川満彦・的場洋平・萩原克郎・谷山弘行(酪農学園大・獣医)
- P 4 8 **北海道におけるエソクロテン (*Martes zibellina brachyura*) とテン (*Martes melampus*) の頭蓋形態の差異について**
村上隆広(斜里町環境保全課自然保護係)
- P 4 9 **沖縄島北部で捕獲されたマンゲースの性比・年齢構成および繁殖特性**
*須藤健二(琉球大・農・亜熱帯動物)・仲地 学・我如古 創(南西環境研究所)・小倉 剛(琉球大・農・亜熱帯動物)・石橋 治(厚生労働省・新潟検疫所)・川島由次(琉球大・農・亜熱帯動物)
- P 5 0 **グランドルアーによるマンゲースの誘引**
*小倉 剛・須藤健二(琉球大・農・亜熱帯動物)・石井信夫(東京女子大・文理)・我如古 創・仲地 学(南西環境研)・石橋 治(琉球大・農・亜熱帯動物学, 厚労省・新潟検疫)・川島由次(琉球大・農・亜熱帯動物)
- P 5 1 **パームシベット (*Paradoxurus hermaphroditus*) 精巣および会陰腺のステロイドホルモン調節機構に関する研究**
*佐々木基樹・山田純三(帯広大・獣医解剖)・テグ ブディピトジョ(ガジヤマダ大学・獣医解剖)・遠藤秀紀(国立科学博物館)・木村順平(日大・獣医・解剖)・坪田敏男(岐阜大・野生動物医学)・北村延夫(帯広大・獣医解剖)・林 良博(東大・院・国際動物資源科学)
- P 5 2 **2003年度北海道沿岸におけるトドの来遊状況**
磯野岳臣(株式会社エコニクス環境技術部)・桜井泰憲(北大・院・水産科学研究科資源生産生態学講座)
- P 5 3 **根室半島・納沙布岬におけるサケ定置網によるアザラシの混獲数調査 2002 - 2003年**
*小林万里(日本学術振興会特別研究員・NPO 法人北の海の動物センター・北大・院・獣医・生態)・石名坂豪(日大・生物資源・獣医臨床繁殖)・角本千治(NPO 法人北の海の動物センター)・若田部久(フリーフィールドワーカー)・小林由美(帯広畜産大・ゼニガタアザラシ研究グループ)・清水秋子(フリーフィールドワーカー)
- P 5 4 **小笠原群島海域におけるミナミハンドウイルカの海域利用**
*森 恭一・一木重夫・筒井浩俊・打込みゆき・渡辺めぐみ(小笠原ホエールウォッチング協会)・篠原正典(環境科学技術研究所)

- P 55 愛知県豊橋市小島海岸でストランディングしたハンドウイルカについて**
*栗原 望・川田伸一郎・山崎 健・夏目明香・森部絢嗣・梶田聖和(名大・院・生命農学・動物管理)・大池辰也(南知多ビーチランド)・石川創(日本鯨類研究所)・織田銑一(名大・院・生命農学・動物管理)
- P 56 愛知県豊橋市小島海岸でストランディングしたハンドウイルカ *Tursiops truncatus* の摂餌生態**
*山崎 健・川田伸一郎・栗原 望・夏目明香・森部絢嗣・梶田聖和(名大・院・生命農学・動物管理)・大池辰也(南知多ビーチランド)・織田銑一(名大・院・生命農学・動物管理)
- P 57 島根県におけるニホンザルの生息・被害実態と被害回避試験**
*金森弘樹・澤田誠吾(島根県中山間地域研究センター)
- P 58 屋久島ニホンザルの mtDNA の地理的分布と植生帯との関係**
早石周平(京大・理・人類進化)・川本 芳(京大・霊長研・集団遺伝)
- P 59 ニホンザルの農作物加害群における食性及び土地利用の季節的变化について - 青森県西目屋村の事例 -**
*坂牧はるか・青井俊樹(岩手大・農・農林環境)
- P 60 四国におけるツキノワグマの保護のための生態調査について**
*金澤文吾・谷地森秀二・金城芳典・山崎浩司(NPO 法人四国自然史科学研究センター)
- P 61 ツキノワグマに装着した GPS より得られる測位データの特徴**
*葛西真輔(東京農工大・院・農)・小池伸介(東京農工大・院・農, 日本生態系協会)・後藤優介(東京農工大・院・農)・山崎晃司(茨城県自然博物館)・古林賢恒(東京農工大・農)
- P 62 ツキノワグマ (*Ursus thibetanus*) によって散布された種子の行方 (予報)**
*小池伸介(日本生態系協会, 東京農工大・院・農)・葛西真輔(東京農工大・院・農)・森本英人・後藤優介(東京農工大・農)・小坂井千夏(東京農工大・農)・山崎晃司(茨城県自然博)・古林賢恒(東京農工大・院・農)
- P 63 ツキノワグマの糞中 DNA 解析法の検討**
*山内貴義(岩手県環境保健研究センター)・齋藤 正恵(岩手大・農)・辻本 恒徳(盛岡市動物公園)・工藤雅志(岩手県環境保健研究センター)・青井俊樹(岩手大・農)
- P 64 野生下ツキノワグマ (*Ursus thibetanus japonicus*) における血清の炭素・窒素安定同位体・食性解析への応用を目的とした基礎データとして・**
*岡野 司(岐阜大・院・連合獣医)・水上 留美子(東京農工大・院・連合農)・吉田 洋(山梨県環境科学研)・楊 宗興(東京農工大・院・連合農)・浅野 玄・坪田 敏男(岐阜大・院・連合獣医)
- P 65 ツキノワグマ生態調査への GPS 測位システムの適用 - 定置試験および野生個体への装着事例 -**
*山崎晃司(茨城県自然博)・葛西真輔(東京農工大)・小池伸介(日本生態系協会)・後藤優介・古林賢恒(東京農工大)
- P 66 栃木県におけるツキノワグマの奥地放獣試験**
*丸山哲也(栃木県民の森管理事務所鳥獣課)・長澤邦彦・小金澤正昭(宇都宮大・農)
- P 67 鳥取県におけるツキノワグマ有害鳥獣捕獲の実態**
西 信介(鳥取県林業試験場)

- P 6 8** **学習付け移動放獣されたニホンツキノワグマの行動圏の季節変化**
*高尾 満・青井俊樹(岩手大・農学研究)
- P 6 9** **兵庫県におけるツキノワグマ保護管理計画の施行後の課題と見直しに向けた取り組み**
*横山真弓(人と自然の博物館)・坂田宏志(兵庫県立大)・片山敦司(野生動物保護管理事務所関西分室)
- P 7 0** **北海道渡島半島地域におけるヒグマ捕獲分布の特徴**
間野 勉(北海道環境科学研究センター)
- P 7 1** **GPSテレメトリーによるヒグマの行動追跡事例**
*釣賀一二三(北海道環境研・道南)・早稲田宏一(EnVision 環境保全事務所)・横山領央(北大・院)・富沢昌章(北海道環境研・道南)
- P 7 2** **ヒグマに食害を受けたビート圍場の立地条件**
*佐藤喜和・中田泰憲(日大・生物資源・森林動物)
- P 7 3** **飼育イノシシにおける体型の周年変化**
*竹内正彦・上田弘則・仲谷 淳(近畿中国四国農業研究センター)
- P 7 4** **イノシシの植物系・動物系のニオイに対する反応**
*上田弘則(近中四農研センター・鳥獣害研)・江口祐輔(麻布大・動物行動管理研)・竹内正彦・仲谷 淳(近中四農研センター・鳥獣害研)
- P 7 6** **カバの壁**
鈴木和男(元ザンビア国立公園野生生物局)
- P 7 6** **ハイキビ, アイダクグの関係とケラマジカ**
*遠藤 晃(佐賀大・院・農)・城間恒宏(嘉手納高校)・伊澤雅子・江藤海彦(琉球大・理)・土肥昭夫(長崎大)
- P 7 7** **大腿骨髄色による奈良公園シカの栄養診断**
*鳥居春己(奈良教育大学)・石川 周・殿町 崇(奈良の鹿愛護会)
- P 7 8** **兵庫県のニホンジカにおける下顎骨と第1切歯を用いた年齢査定法の検証**
*後藤成子・木下裕美子(関西野生動物問題研究会)・横山真弓(兵庫県立人と自然の博物館)
- P 7 9** **福島県尾瀬周辺地域におけるニホンジカの冬季の生息について**
*岩崎雄輔・木村吉幸(福島大)・内藤俊彦(静岡産業大)
- P 8 0** **関東地方南部に生息するニホンジカのミトコンドリア DNA から見た遺伝的な個体群構造について**
*湯浅 卓(東京農工大・院・連合農学)・永田純子(森林総研・鳥獣生態)・濱崎伸一郎(野生動物保護管理事務所・関西分室)・釣賀一二三(北海道環境科学研究センター・道南)・野生生物室)・古林賢恒(東京農工大・院・連合農学)
- P 8 1** **東京都奥多摩地域におけるニホンジカの食性と栄養状態**
*岡野あすか(東農大・農・野生動物)・高槻成紀(東大・総合研究博物館)・安藤元一(東農大・農・野生動物)・祐森誠司(東農大・農・家畜飼養)

- P 8 2 **GPS テレメトリーのアクティビティセンサーによるニホンジカの行動記録の検討**
*矢部恒晶・小泉 透(森林総研・九州)
- P 8 3 **多雪地におけるエゾシカの越冬実態に関する研究**
*南野一博・福地 稔(北海道立林試験場)
- P 8 4 **GPS テレメトリー法を用いたエゾシカの季節移動に関する研究**
鈴木 透(NPO 法人 EnVision 環境保全事務所)・宇野裕之(北海道環境研)・赤松里香(NPO 法人 EnVision 環境保全事務所)・伊吾田宏正(北大北方生物圏フィールド科学センター)・立木靖之(北大・農)・平川浩文(森林総研北海道)
- P 8 5 **DNA 解析によるニホンカモシカの雌雄判別法の検討**
*西村貴志(岩手大・農)・山内貴義(岩手県環境保健研究センター)・出口善隆・松原和衛・高橋寿太郎・宮澤俊一・青井俊樹(岩手大・農)・辻本恒徳(盛岡市動物公園)
- P 8 6 **長野県のカモシカ特定鳥獣保護管理計画実施にともなう胃内容物分析**
岸元良輔(長野県環境保全研究所)
- P 8 7 **ニホンカモシカ *Naemorhedus crispus* における歯数変異**
*夏目明香(名大・院・生命農学・動物管理, 同・口腔先端研)・子安和弘(愛院大・歯・解二, 同・口腔先端研, 同・歯資展示室)・花村 肇(愛院大・歯・解二, 同・口腔先端研)・織田銃一名大・院・生命農学・動物管理)
- P 8 8 **都市近郊林におけるニホンカモシカの行動圏と河畔林の利用について**
*宮澤俊一・青井俊樹・出口善隆・西村貴志(岩手大学大学院・農学研究科)
- P 8 9 **Allometric growth of digestive organs related to body growth of Japanese serows and its biological significance**
*姜 兆文(山梨県環境科学研究所・動物生態), 鳥居春己(奈良教育大・自然環境教育センター)・大場孝裕(静岡県林業技術センター)・高槻成紀(東大・総合研究博物館)・北原正彦(山梨県環境科学研究所・動物生態)
- P 9 0 **国産 GPS 首輪の評価と利用可能性**
*島 絵里子・齊藤 隆(北大・FSC) 鈴木正嗣・高橋裕史(北大院 獣医)・梶 光一(道環境研)
- P 9 1 **旭川市旭山動物園のヒョウ属展示スペースにおける環境エンリッチメントの評価**
*須田直子・柳川 久(帯広畜産大・野生動物管理)
- P 9 2 **哺乳動物の下垂体窩と下顎骨長との関係**
*室橋圭太・八重柏典子・土屋剛(石巻専修大・理工)
- P 9 3 **草地の哺乳動物相調査への自動撮影装置の適用 2. 中・大型哺乳類を対象として**
*塚田英晴・深澤 充・小迫孝実・須藤まどか(農研機構・畜草研)・井村 毅(農研機構・近中四農研)・平川浩文(森林総研・北海道)
- P 9 4 **内部寄生虫たちは時間と場所でどのように異なるのか？**
的場洋平・浅川満彦(酪農学園大・獣医寄生虫[野生動物学])
- P 9 5 **ニュージーランドにおける外来種対策と在来種保護 - Karori Wildlife Sanctuary と Tiritiri Matangi Island の例から -**
*池田 透・立澤史郎・鈴木克哉(北大・院文・地域システム)

P 会場 10月10日(日)～11日(月)

ポスター発表

- P96 ポルネオ島における哺乳動物と塩場の関係**
*松林尚志(東京農業大学・農・家畜生理)・Jum Rafiah Abd. Sukor(マレーシア・サバ州生物局)・Joseph Tengah(マレーシア・サバ州森林局)
- P97 茨城県水戸近郊地域に生息する食肉目5種の生息地利用と環境選好性**
*佐伯 緑(国土技術政策総合研・緑化生態, 水戸生態系研究会)・金子弥生(オックスフォード大 Wildlife Conservation Research Unit 水戸生態系研究会)・松林健一(セントラル・コンピュータ・サービス)・奥村忠誠(野生動物保護管理事務所)・藤原宣夫・飯塚康雄(国土技術政策総合研・緑化生態)・日置佳之(鳥取大・農)・羽澄俊裕(野生動物保護管理事務所)
- P98 Food habits of the Eurasian otter (*Lutra lutra*) at different habitats in South Korea**
* Han, Sungyong・Taekwoo Nam (Kyungnam Univ., Korea; Wildlife Institute of Korea)・安藤元一(東京農大・農・野生動物)

(学内食堂「けやき」) 10月9日(土)

懇親会

18:00～20:00 懇親会 (終了時間頃にバスを増便します)

エクスカージョン 10月11日(月)

A. ニホンジカ保護管理についての現地勉強会

日程: 8:00 小田急線秦野駅南口集合 → 10:00 現地着 → 13:00 見学終了 → 15:00 小田急線秦野駅解散

B. 上野動物園見学会「日本産動物の飼育展示」

日程: 15:00～17:00(本厚木駅 13:22 発の小田急線急行乗車, 代々木上原駅で 14:15 発の地下鉄千代田線に乗り換え, 根津駅 14:39 着, 上野動物園通用門に 15:00 集合).

C. 博物館訪問「神奈川県立生命の星・地球博物館」

日程: 16:00 博物館入口に現地集合(本厚木駅から博物館まで約1時間 20分(小田急本厚木～小田原駅, 箱根登山鉄道小田原駅～入生田駅 徒歩3分) → 各コースに分かれて行動 → 18:00 頃 解散

D. 神奈川県の外来種問題

日程: 13:00 厚木キャンパス発 → 14:30 鎌倉駅着 → 14:45～16:45 現地視察 → 17:00 鎌倉駅解散

E. 大雄山最乗寺のムササビ観察

日程: 14:30 車で厚木キャンパス出発(東名厚木 IC → 大井松田 IC 経由で最乗寺着 → 17:30 観察開始 → 20:00 観察終了 → 21:00 小田急本厚木駅で解散(伊豆箱根鉄道大雄山駅でも下車可)